

要求獲得と民主的課題での斗争の意義

全般的危機と日本

オの次大戦後、アメリカ帝国主義は、資本主義世界で、軍事的、政治的、経済的に支配的地位を確立した。しかし民族解放闘争の進展、旧植民地の独立、東欧、中国に於ける人民民主主義革命の成功、社会主義世界体制の出現等により、世界資本主義体制の全般的危機はだれの目にも疑いえないものとなっている。(ここに全く奇妙なことに、トロツキスト社学同などは、現代を資本主義から社会主義へ移っていく世界史的過程としてとらえることができず、現代を半世紀前のオ一次大戦のころと同様の植民地再分割の時代と捉えている)特に、一九六〇年以後のキューバ革命、南ベトナム民族解放戦線の進展は、帝国主義者をますます窮地に追いつめ、その人民抑圧政策は、ますます狂変化している。白日明らかにしたように、アメリカ帝国主義とそれに従属的に同盟している日本独占資本は、この危機をのりこえ、ますます多くの利潤を得ようと軍国主義的、帝国主義的復活とはやめずとして、そしてその予備と全面的に人民、特に青年労働者に戦線しようとしている。先進資本主義国でまれにみる低賃金(それは年功序列で)、合理化、イデオロギー面では、反共分裂思想、エゴグロブナシセンス文化の氾濫——これらがすでに私たち青年に向けられているのです。

反動勢力の大学支配政策と私たちの要求

現在、反動勢力は、大学とその反動支配、軍国主義復活の思想的支柱にしようとし、オ一に、警察国家権力の直接的自治破壊、学生処分、オ二にその勉強、生活条件を極端に切りつめ、オ三に官僚統制、オ四に学問内容の反動化でもってその目的を達しようとしている。このような勉強、生活諸条件の全面的な悪化のやから、私たちに

は様々な要求が生まれて来ている。オ一に希望者全員の入れる新寮の建設、学生研究室の設置、学金の大幅増額、大学予算の大幅増額等の生活条件、勉強条件を改善せよという要求、オ二に自民党の市大攻撃を反対、ステッカー、看板の不当な取扱い反対、教室使用制限反対、学長、教授会に対する干渉、官僚統制反対などの大学の自治を争い、大学の民主的運営をかちとうという要求、オ三にカリキュラムの改善反対、マスコット教育反対、学問の自由に対する自民党の干渉反対、大企業、防衛庁、米軍等の委託研究反対などの学問の自由を争い、自主的民主的学問研究と発展せよという要求、これらの要求は、国民の生活の犠牲のつえに、アメリカのベトナム侵略に加担し、軍国主義復活と独占資本の利益を実現しようとしている自民党の反人民的政策と直接対決するものです。だから私たちはこの反動と人民青年に対する攻撃とに全面的に対決し、全てのそこから生まれ要求ととりあげたにかいを押し進めなければならぬ。特に私たち民青は、その要求と全く人民的な政治課題とを、系統的に結びつけ、それと、日本の支配層(米日反動勢力)の支配をくつがえす具体的なか(民族民主統一戦線)に組織化するため、青年戦線の中核となって活動しなければならぬと考へます。もう少し考えてみると、その意義は、オ一に要求はそれ自体支配勢力の攻撃であり、青年学生は自らの要求と、もってにかつことにより、その実践の中で真にその要求をばんでいく敵はだれかと知り、労働者階級の思想(党派性、規律性)と身につけること、オ二に、その要求実現のためにいて一つの反動の攻撃をうち破り青年の権利意識をたかめる。特に学生の場合、現実の生活にむいた活動がむずか

しく、やはり強い斗争がでない結果をもっているが、
これは個々の斗争のなかで大きく変えることができる。

民学同・トロツキスト を批判する

現在、民学同両派、トロツキストは、もう手を上げ、
我が同盟を集中的に攻撃している。

「セクト主義」「要求斗争ナンセンス」「要求列主
義」と。だが彼らは先に述べた要求斗争、民主的課題で
の斗争の意義を全く理解せず、ただ学生運動を政治運動
革命運動（それも全くまちがった）に矮小化しようとし
ている。民学同はいまやる気もない逆掌用の「学生会館
建設」や「子名寮」大学祭、文化運動のことを口にした
したが、それらはすでに先年の「市大建設総合」で早計
画し「プロゼミ」再開に全く取りくもうとしなかった事
で分るように、全くの大つとどであったことは学友の前に
明かになっている。

トロツキスト、民学同一派も、専断別の研究や大
學ゼミのことを口にしているが、これは彼ら自身のいう
マヌーバーへ一時的、戦術的「まかし」にすぎない。

それに対し、我々は終始一貫して「学友の切実な要求
をとり上げて斗争」ことを主張し、その実現のために多
くの努力をしてきた。

最後に

レーニンが革命の戦術で民主的課題で斗争することをどう
位置づけていたかを弁ておこう。

「民主主義のための斗争はプロレタリアートを社会主
義革命からとらせ、もしくは、それを妨害し、おいてま
にする恐れがあるなどと考えるのは、根本的な誤りであ
ろう。反対に、完全な民主主義を実現しなければ、社会
主義の勝利のありえないのと同様に、民主主義のための
全面的な、一貫した革命的斗争を行わないプロレタリア
ートは、ブルジョアジーに対する勝利を準備することは
できない。（レーニン「社会主義革命と民族自決権」）

6.2 大阪空港の軍事使用反対！
軍用機の離着陸禁止！
軍事施設撤去要！
大阪2万人大集会

場所：阪急岡町下車「どろき公園」
なお当日は午前10時より学生独自で
府学連統一行動がおこなわれます。